



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 雅美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	5,067	△13.8	△6	—	6	△92.5	△7	—
30年3月期第3四半期	5,878	5.5	90	△1.0	89	△23.7	66	△30.7

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 △29百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 73百万円 (△15.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△0.13	—
30年3月期第3四半期	1.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	6,345	4,700	74.1	83.58
30年3月期	6,360	4,750	74.7	84.46

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 4,700百万円 30年3月期 4,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.35	0.35
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.25	0.25

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,346	△4.6	100	46.4	103	81.7	70	△30.3	1.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	59,640,348 株	30年3月期	59,640,348 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	3,395,825 株	30年3月期	3,395,818 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	56,244,530 株	30年3月期3Q	45,044,784 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加の情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、総じて個人消費の持ち直しが見受けられ、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響など、先行きには留意する必要があります。

このような事業環境のもと、当社グループは、コア事業である意匠擦糸事業へ経営資源を集中することに加え、和装、洋装、寝装の各事業におきましても、更なる構造改革を実施するとともに、売上の拡大に向けて、新規取引先の開拓、既存取引先の再耕を実施いたしました。これらの結果、売上高50億67百万円（前年同四半期比13.8%減）、営業損失は6百万円（前年同四半期は営業利益90百万円）、経常利益は6百万円（前年同四半期比92.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益66百万円）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

和装事業は、専門店取引は堅調に推移し、新たな販売機会の創出のため、リサイクル企画催事などを行いました。主力の百貨店取引は市況の悪化傾向が顕著で売上高は減少いたしました。しかしながらコスト構造の見直しにより利益は拡大し、特に、和装小物卸の子会社吉利は昨年来のビジネス全般の見直しや構造改革の推進により和装事業全体を牽引する要因となりました。この結果、売上高11億23百万円（前年同四半期比23.5%減）、営業利益は14百万円（前年同四半期比58.8%増）となりました。

寝装事業は、東北地区におけるギフト事業が安定に推移したことに加え、マットレス事業も取引先への商品提案の増加により売上は回復傾向となり、更に事務所の統廃合等の構造改革効果が顕在化いたしました。この結果、売上高4億42百万円（前年同四半期比0.9%増）、営業利益は28百万円（前年同四半期比44.5%増）となりました。

洋装事業は、アパレル事業は西日本中心に新たな人材の投入で百貨店催事事業を開始し、売上・利益ともに大きく伸ばいたしました。九州地区拠点の丸福事業は、ミセス・ベビー・子供服が受注減となり、若干の減益となりました。馬里邑事業は第1四半期での仕入調整の影響で苦戦をしておりましたが、新規商品投入も再開することで、第3四半期会計期間では営業黒字に転換することができました。この結果、売上高19億42百万円（前年同四半期比19.2%減）、営業損失は7百万円（前年同四半期は営業利益99百万円）となりました。

意匠擦糸事業は、日本事業が国内アパレルからの受注回復により、増収増益を達成いたしました。また海外事業も中国大手アパレルからの受注増加に加えて、欧米、日本からの受注も増加し、売上高が大幅増となるなど全体を牽引いたしました。しかしながらOEM事業における国内アパレルからのOEM受注が大幅な減少となりました。この結果、売上高15億58百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は1億12百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は58億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が83百万円、電子記録債権が40百万円増加し、受取手形及び売掛金39百万円、商品及び製品が46百万円、未収入金（流動資産「その他」）が42百万円減少したことによるものであります。固定資産は5億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に工具器具備品が13百万円増加し、投資有価証券（投資その他の資産「その他」）が20百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は63億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は16億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億19百万円増加し、電子記録債務が25百万円、賞与引当金が21百万円減少したことによるものであります。固定負債は42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が11百万円増加し、繰延税金負債が7百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は16億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は47億円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少14百万円と剰余金の配当19百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は74.1%（前連結会計年度末は74.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月15日付「平成29年3月期決算短信」にて公表した内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更等の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,076,959	2,160,519
受取手形及び売掛金	1,501,911	1,462,072
電子記録債権	224,535	265,165
商品及び製品	1,879,291	1,832,480
仕掛品	8,816	8,866
原材料及び貯蔵品	48,360	56,679
その他	104,186	55,998
貸倒引当金	△14,608	△12,716
流動資産合計	5,829,452	5,829,067
固定資産		
有形固定資産	335,524	355,398
無形固定資産	20,602	15,800
投資その他の資産		
その他	228,152	197,107
貸倒引当金	△53,033	△51,734
投資その他の資産合計	175,118	145,373
固定資産合計	531,245	516,572
資産合計	6,360,697	6,345,640
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	884,611	1,003,678
電子記録債務	369,096	343,514
未払法人税等	24,967	26,020
賞与引当金	27,000	5,760
返品調整引当金	40,715	36,931
その他	225,338	186,104
流動負債合計	1,571,728	1,602,009
固定負債		
その他	38,740	42,737
固定負債合計	38,740	42,737
負債合計	1,610,469	1,644,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,937,570	2,937,570
資本剰余金	1,236,152	1,236,152
利益剰余金	917,809	891,042
自己株式	△389,570	△389,571
株主資本合計	4,701,960	4,675,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,577	17,909
為替換算調整勘定	15,690	7,790
その他の包括利益累計額合計	48,267	25,699
純資産合計	4,750,228	4,700,893
負債純資産合計	6,360,697	6,345,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	5,878,681	5,067,368
売上原価	4,005,236	3,543,167
売上総利益	1,873,444	1,524,201
販売費及び一般管理費	1,782,871	1,530,520
営業利益又は営業損失(△)	90,573	△6,318
営業外収益		
受取利息	451	1,186
受取配当金	2,361	1,207
受取賃貸料	12,716	7,000
為替差益	5,986	4,687
還付金収入	-	4,369
その他	2,018	3,289
営業外収益合計	23,535	21,741
営業外費用		
支払利息	2,461	1,483
手形売却損	911	656
賃貸費用	6,544	2,077
株式交付費	9,450	-
株主優待関連費用	-	3,645
その他	4,763	777
営業外費用合計	24,130	8,639
経常利益	89,978	6,782
特別利益		
関係会社株式売却益	25,642	-
投資有価証券売却益	16,890	-
特別利益合計	42,532	-
特別損失		
構造改革費用	54,485	-
特別損失合計	54,485	-
税金等調整前四半期純利益	78,026	6,782
法人税、住民税及び事業税	11,778	13,864
法人税等調整額	△194	-
法人税等合計	11,583	13,864
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,442	△7,081
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	66,442	△7,081

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	66,442	△7,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,143	△14,668
為替換算調整勘定	848	△7,899
その他の包括利益合計	6,992	△22,568
四半期包括利益	73,434	△29,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,434	△29,649

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠撚糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,469,546	438,249	2,403,162	1,567,722	5,878,681	—	5,878,681
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,469,546	438,249	2,403,162	1,567,722	5,878,681	—	5,878,681
セグメント利益	9,339	19,822	99,496	121,741	250,399	△159,825	90,573

(注) 1. セグメント利益の調整額△159,825千円には、セグメント間取引消去35,967千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△195,792千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠撚糸事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,123,608	442,325	1,942,941	1,558,493	5,067,368	—	5,067,368
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,123,608	442,325	1,942,941	1,558,493	5,067,368	—	5,067,368
セグメント利益 (又はセグメント 損失(△))	14,828	28,640	△7,509	112,966	148,924	△155,242	△6,318

(注) 1. セグメント利益の調整額△155,242千円には、セグメント間取引消去27,643千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△182,886円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。